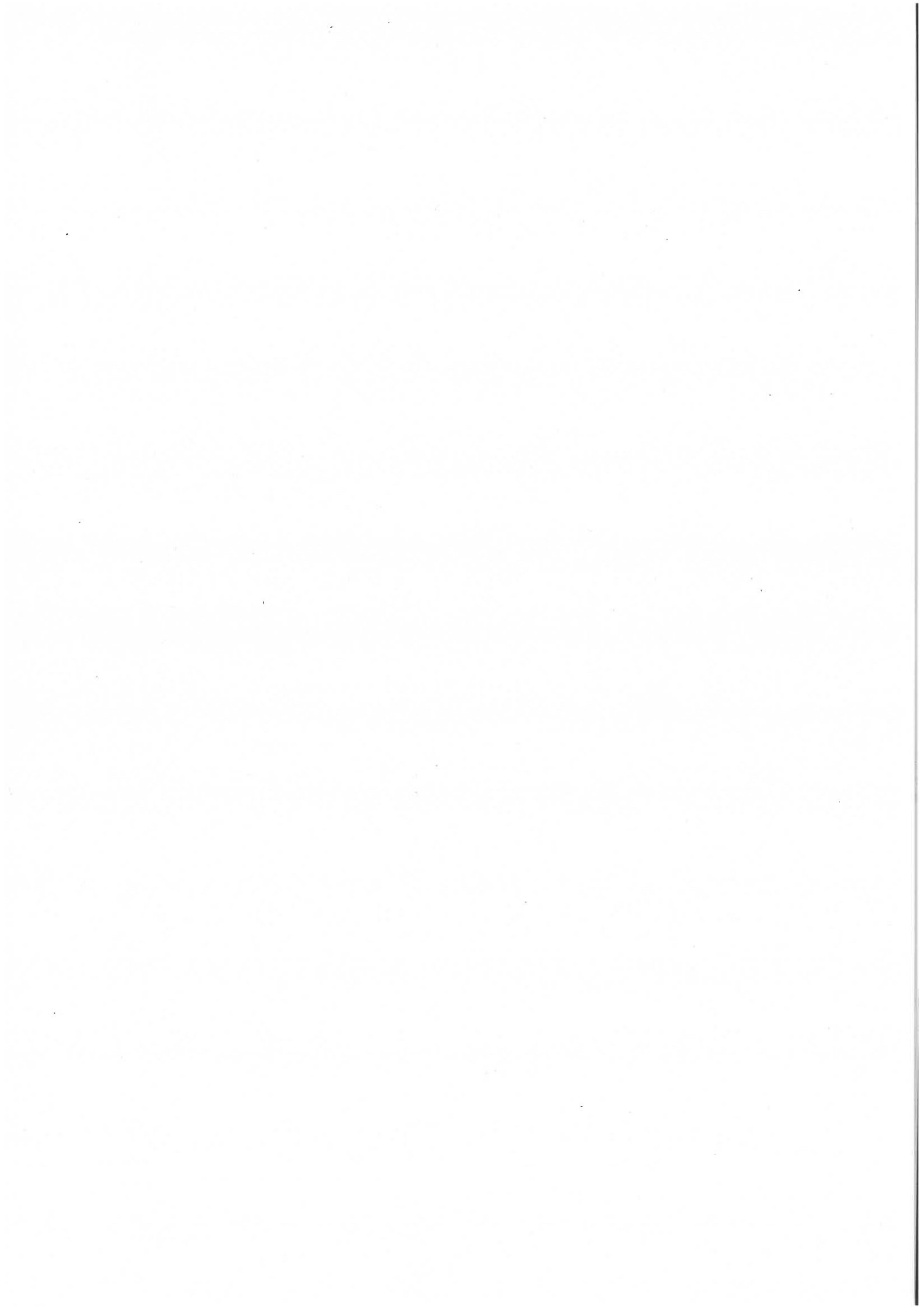


杉並区総合計画
(平成 31 年度～平成 33 年度)
(2019～2021 年度)

杉並区実行計画
(平成 31 年度～平成 33 年度)
(2019～2021 年度)

抜粋



■目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策24 子ども・青少年の育成支援の充実

現状と課題

- 次代を担う子ども・青少年が、視野を広げ、夢に向かって健やかに成長するためには、多様な体験・交流の機会を充実するとともに、それらに参加しやすい仕組みづくりが必要です。
- 女性の就業率の高まりを背景にした就学前の保育需要と同様に、年々増加している学童クラブの需要に的確に対応するとともに、より安全・安心な育成環境の整備が必要です。
- 子ども・青少年が、より幅広い支援を受けられたり、仲間づくりを進めることができるよう、放課後等の居場所の整備・充実が求められています。

計画最終年度(平成33年度)(2021年度)の目標

- 子ども・青少年が、自主性・社会性などを身につけ、夢を描きながら健やかに成長するための支援の仕組みづくりが進んでいます。
- 学童クラブや放課後等の居場所の整備が推進され、地域の人や団体の支援を受けながら児童の健全育成環境の充実が図られ、安心して働きながら子育てができる環境が整っています。

施策指標の推移(実績)と目標値

指標名	実績値 (24年度)		実績値 (29年度)		目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
将来の夢・目標が定まっている子ども(高校生)の割合	62.0%	⇒	60.9%	⇒	75%	「仕事と将来に関するアンケート」区内在学高校2年生への調査による
学童クラブ待機児童数	70人 (25年4月)	⇒	255人 (30年4月)	⇒	0人	年度当初入会時の待機児童数

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策24 子ども・青少年の育成支援の充実

1 次世代育成基金[※]の活用推進

〈重点〉

全ての子どもたちが、夢を抱き健やかに育つように、自然・文化・芸術・スポーツなどの様々な体験・交流事業への参加を支援します。また、基金趣旨の一層の周知と応援寄附募集の取組を推進します。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	基金を活用した体験・交流事業 実施 6事業 参加者 280人	基金を活用した体験・交流事業 実施	基金を活用した体験・交流事業 実施	基金を活用した体験・交流事業 実施	基金を活用した体験・交流事業 実施
	民間からの基金活用事業の提案公募 実施 4事業 参加者 428人	民間からの基金活用事業の提案公募 実施	民間からの基金活用事業の提案公募 実施	民間からの基金活用事業の提案公募 実施	民間からの基金活用事業の提案公募 実施
	経費(百万円)	0	0	0	0

※ 次世代育成基金…次代を担う子ども・青少年の国内外の交流やスポーツ、文化、芸術などの事業への参加を支援するための基金

2 学童クラブの整備

〈重点〉

増加する学童需要に対応するため、小学校内又は小学校に近接する場所への学童クラブの整備を進めるとともに、小学生の放課後等の居場所の機能などを移転した児童館施設を活用し、受入枠の拡大を行います。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	小学校内等への学童クラブの整備 13クラブ (累計13クラブ)	小学校内等への学童クラブの整備 2クラブ (累計15クラブ)	小学校内等への学童クラブの整備 3クラブ (累計18クラブ)	小学校内等への学童クラブの整備 — (累計18クラブ)	小学校内等への学童クラブの整備 5クラブ (累計18クラブ)
			児童館施設を活用した学童クラブの受入拡大 2クラブ (累計2クラブ)	児童館施設を活用した学童クラブの受入拡大 1クラブ (累計3クラブ)	児童館施設を活用した学童クラブの受入拡大 3クラブ (累計3クラブ)
	経費(百万円)	220	0	0	220

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策24 子ども・青少年の育成支援の充実

3 放課後等居場所事業の実施

小学生が学校施設を活用しながら放課後を過ごす、放課後等居場所事業を段階的に展開し、子どもの健全育成支援の充実を図ります。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	小学生の放課後等居場所事業の小学校内での実施 2所 (累計2所)	小学生の放課後等居場所事業の小学校内での実施 2所 (累計4所)	小学生の放課後等居場所事業の小学校内での実施 5所 (累計9所)	小学生の放課後等居場所事業の小学校内での実施 3所 (累計12所)	小学生の放課後等居場所事業の小学校内での実施 10所 (累計12所)
経費(百万円)		68	154	205	427

4 中・高校生の新たな居場所づくりの推進

中・高校生が日常的に集い、交流することができる新たな居場所づくりを推進します。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 検討	中・高校生の新たな居場所づくり 実施1所 (累計1所)	中・高校生の新たな居場所づくり 検討 実施1所 (累計1所)
経費(百万円)		0	0	0	0

■目標 4 健康長寿と支えあいのまち

施策18 地域福祉の充実

現状と課題

- 介護と育児に同時に直面するダブルケアなど複合的な課題を抱える人、世帯の増加や既存の制度の対象とならない身近な生活課題など、公的なサービスの充実等だけでは解決できない課題等に対応するため、地域での互助・共助の仕組みづくりに取り組む必要があります。
- 経済的な困りごとや家族のひきこもりなど、生活に課題を抱えた人が増えています。高齢や障害、子ども家庭等の分野を超え、地域の人や関係者が適切な相談先につなげられる仕組みが求められています。
- 高齢化の進展により、単身高齢者、高齢者のみ世帯や認知症高齢者が増加する中、判断能力が低下しても、地域で安心して暮らし続けられるよう、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業についての周知を図り、利用を促進する必要があります。

計画最終年度(平成 33 年度)(2021 年度)の目標

- 災害時の支援の仕組みを通じて、平常時の緩やかな見守りや支えあいが地域で行われ、すべての人が安心して生活しています。
- 就労相談・訓練等の必要な支援が行われ、稼働年齢層の方が、生活が困窮することなく自立した生活を送っています。
- 子どもたちが安全・安心に、夢と希望をもって成長できるよう、地域で子どもを支える必要な環境が整っています。
- 高齢や障害により判断能力が十分でなくても、生活支援や権利擁護により、住み慣れた地域で安心して生活しています。

施策指標の推移(実績)と目標値

指標名	実績値 (24 年度)	実績値 (29 年度)	目標値 (33 年度) (2021 年度)	指標の説明・計算式
地域のたすけあいネットワーク(地域の手)*登録者数	8,775 人	9,968 人	16,500 人	
生活困窮者自立支援法に基づく相談支援実施後の就労自立者数	—	63 人	150 人	年間の就労自立者数
後見制度利用手続き支援件数	860 件	1,786 件	2,100 件	

目標4 健康長寿と支えあいのまち

施策18 地域福祉の充実

2 生活困窮者等自立支援の強化

〈重点〉

「ウェルファーム杉並」複合施設棟内の「くらしのサポートステーション」では、生活困窮者、ひきこもり・ニート等の将来生活困窮者となるリスクのある者を対象に、自立相談支援事業^{※1}を核として、家計相談や、関係機関と連携した就労準備支援、学習等支援事業の実施などにより、生活保護に至る前の段階から伴走型自立支援を行います。また、相談機関連携推進員^{※2}を設置し、相談機関相互の有機的な連携体制を構築することにより、子どもの貧困などの地域の諸課題への対応力を向上させます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	自立相談支援事業の実施 相談件数 6,200件	自立相談支援事業の実施 相談件数 6,200件	自立相談支援事業の実施 相談件数 6,200件	自立相談支援事業の実施 相談件数 6,200件	自立相談支援事業の実施 相談件数 18,600件
	相談機関との連携強化 検討	相談機関との連携強化 検討	相談機関との連携強化 実施	相談機関との連携強化 実施	相談機関との連携強化 検討 実施
	学習等支援事業の実施 1,000件	学習等支援事業の実施 1,000件	学習等支援事業の実施 1,000件	学習等支援事業の実施 1,000件	学習等支援事業の実施 3,000件
	子ども食堂 ^{※3} 等の運営 支援	子ども食堂等の運営 支援	子ども食堂等の運営 支援	子ども食堂等の運営 支援	子ども食堂等の運営 支援
	経費(百万円)	60	64	64	188

※1 自立相談支援事業…生活困窮者からの相談に応じ、課題の解決に向けた自立支援計画を作成する事業

※2 相談機関連携推進員…「くらしのサポートステーション」に設置する、複数の生活課題を抱えた相談者の包括的な支援を行うため、生活課題に関連する多数の機関の連携支援体制を構築する専門員

※3 子ども食堂…無料又は低価格で食事を提供し、集まった人たちが食事をするにより、地域のつながりを強くすることなどを目的に活動している個人や地域の団体による自主的な取組

■目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策26 成長・発達に応じたきめ細かな教育の推進

現状と課題

- 特別な支援を必要とする発達障害等の児童・生徒が増加してきていることから、小中学校全校に特別支援教室*を設置するとともに、一人ひとりの成長や発達課題に応じた支援体制を充実していくことが必要です。
- 児童・生徒へのよりきめ細やかな支援のため、学校は保護者や関係機関等との連携を更に強めていくことが欠かせません。
- いじめに対しては、更に迅速かつ的確に対応できるよう支援していくことが求められています。また、不登校など配慮を要する児童・生徒が、多様な学びを通して、持てる能力を伸ばしながら成長していけるよう支援をしていくことが必要です。

計画最終年度(平成33年度)(2021年度)の目標

- すべての学校において、特別な支援を必要とする子どもたちにきめ細やかで適切な教育や支援が行われ、子どもたちが健やかに学校生活を送っています。
- すべての子どもたちが、持てる能力を最大限発揮し、様々な人とかかわりながら、多様な学びを進めています。

施策指標の推移(実績)と目標値

指標名	実績値 (24年度)	実績値 (29年度)	目標値 (33年度) (2021年度)	指標の説明・計算式
個別の教育支援計画(学校生活支援シート)を作成している学校の割合	-	70.3%	100%	
不登校児童・生徒の出現率	小学校 0.32% 中学校 2.08%	小学校 0.68% 中学校 3.43%	小学校 0% 中学校 0%	児童・生徒数に占める長期欠席児童・生徒の割合
不登校児童・生徒のうち専門機関等による支援を受けている割合	-	90.1%	100%	

目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

施策26 成長・発達に応じたきめ細かな教育の推進

3 いじめ・不登校対策の推進

〈重点〉

電話やメールによる相談等を通して、いじめ問題の早期発見に努めるとともに、教育SAT^{※1}を核として問題解決に向け適切な支援を図ります。また、不登校の要因が多様化・複雑化する中で、学校と関係機関との連携強化のためスクールソーシャルワーカー^{※2}の派遣を充実させるとともに、不登校となっている児童・生徒に対して、さざんかステップアップ教室^{※3}において一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を行います。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	すぎなみいじめ電話レスキュー実施	すぎなみいじめ電話レスキュー実施	すぎなみいじめ電話レスキュー実施	すぎなみいじめ電話レスキュー実施	すぎなみいじめ電話レスキュー実施
	すぎなみネットでトラブル解決支援システム運用	すぎなみネットでトラブル解決支援システム運用	すぎなみネットでトラブル解決支援システム運用	すぎなみネットでトラブル解決支援システム運用	すぎなみネットでトラブル解決支援システム運用
	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校	スクールソーシャルワーカーの派遣 小中学校全校
	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営	さざんかステップアップ教室の運営
	不登校解消支援システム ^{※4} の運用	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用	不登校解消支援システムの運用
	経費(百万円)	34	34	34	102

※1 教育SAT…指導主事、学校管理職経験者、スクールソーシャルワーカー、相談員で構成され、児童・生徒にかかわる諸問題の解決支援を行う区独自の組織

※2 スクールソーシャルワーカー…問題を抱えた子どもと家庭・学校・地域・関係機関等に対して調整・仲介役としての役割を担い、子どもを取り巻く様々な環境に働きかけ、子どもの生活改善を支援する福祉や心理の専門家

※3 さざんかステップアップ教室…学校生活に適応できず不登校となった児童・生徒が、集団生活を通して社会性を育み、社会的自立や学校生活へ復帰できるよう支援することを目的とした教室

※4 不登校解消支援システム…不登校傾向にある児童・生徒の早期発見・早期対応を図るため、学校が「個別登校支援票」等を作成し臨床心理士や教員OB等の専門家からアドバイスを受け、必要に応じて関係機関と連携して、児童・生徒の登校支援を行う区独自の仕組み